



～こげん なごいぎらんでも よかたっどん～

小田代病院 副院長 徳重 正弘

来年は、いよいよ東京オリンピックの年です。日本の高度経済成長の礎となった前回の東京オリンピックが開催されたのは1964年、私は小学校3年生でした。その前年に、日本の高齢者人口の増加に対応して、老人の福祉の原理を明らかにした「老人福祉法」が制定されたわけですが、この1963年の日本には、100才を超える高齢者は、わずか153人だったんです。それから半世紀が過ぎた昨年2018年、100才以上の人口がなんと！なんと！およそ7万人になったと厚生労働省は発表しています。身近にもそうはいない100才を超える方が、今、日本に7万人もいるという、この極めて急速な超高齢化には、本当にビックリです。



1月末のとある日、小田代病院的の病棟には、全部で54人の入院患者さんがいました。その内訳は、男性が22人で、90才代3人、平均年齢76.7才、女性が32人で、90才代12人、平均年齢84.4才と、さすがにこの時は、100才を超える方はいませんでしたが、世の中の高齢化が、そのまま反映された形となっています。

かくいう私の母も、現在 93才です。時々、食べたことを忘れる、あるいは食べることを忘れてしまうこともあります。「こげん なごいぎらんでも よかたっどん」と、呟きながらも自分の生活リズムで、見守られつつ、一人暮らしをしています。

このような高齢化社会の中、わが国は、在宅医療の推進を今後の方向性として、大きく打ち出しています。小田代病院の、訪問リハビリと在宅および在施設の通院困難な患者さんへの訪問診療も、4年目を迎えようとしています。その人らしさの生活を支えるという意味では、在宅医療は、医療の本質により近いのではないかと実感させられることが、訪問の数の増加とともに、最近では増えてきています。

訪問診療の日には、「小田代病院」と書かれた専用車に乗り、訪問先の患者さんの生活状況がしっかりと頭に入った看護師さんの運転で、北は吉田から、南は谷山坂之上、西は伊集院まで、文字どおり東奔西走しております。そして、その途中で、他の病院や介護施設、訪問看護ステーション等の名前が記された車とすれ違わない日はありません。現在の日本では、多くの医療者、介護者が、医療保険と介護保険を使って、高齢者の毎日の健康と生活を支えているわけです。しかし、増え続ける需要に対応するには、財源の問題と介護に携わる労働力の問題が解決されなければならない、少子化による人口減と急速な超高齢化の進行のため、その限界と破綻はもうすぐそこまで来ていると言われてます。

私が小学生だった頃、「21世紀は、科学技術の発達による、バラ色の豊かな未来」として、描かれていました。しかし今、21世紀も、もう20年が過ぎようとしています。果たして、東京オリンピックが終わった後の、残りの21世紀の社会はどうなっていくのでしょうか。

朝夕、母の元を訪ねながら、その元気な姿と笑顔に安堵しつつ、「こげん なごいぎらんでも よかたっどん」の意味を考えさせられている、今日この頃です。



寝台車購入

患者様の送迎用に寝台車を購入致しました！

普通の車での送迎が困難な患者様のお役に立てると思っています！！



ストレッチャー及び車椅子(2台)

地域医療連携室からのお知らせ

これまで3階にあった地域医療連携室が1月1日より1階へ移動となりました。入院中の患者様はもちろん外来の患者様のお困りごとにもスムーズに対応できるような環境へより一層近づけたのではないかと思っています。また他の施設、医療機関との連携もさらに深めて患者様にとってより良い援助を行って参ります。

今後ともよろしくお願いたします。



検査科だより ～アルコール脂肪肝について～

送別会、歓迎会、花見とお酒の美味しいシーズンが近づいてきました♪しかし飲みすぎには注意が必要です！！

アルコールを飲みすぎてしまうと、アルコールによる脂肪肝になってしまいますよ！！皆さんは脂肪肝という病気をご存知ですか？アルコールや炭水化物などの過剰摂取により、肝臓に脂肪が30%以上蓄積されている状態です。！！



脂肪肝の原因は飲酒・肥満・糖尿病など様々です。アルコールの飲みすぎも原因の1つです。アルコールが原因の脂肪肝を『アルコール性脂肪肝』といいます。

肝臓は「沈黙の臓器」ともいわれるように、痛みやきしみといった症状をなかなかみさせません。そのため気付かないうちに、脂肪肝から肝硬変へと進んでしまうことがあるのです。

悪化すると、だるさ、食欲低下、黄疸などの症状がみられることもあります。脂肪肝の段階ではほとんど自覚症状はありません。それだけにアルコールをよく飲む人は定期的に健康診断を受け、脂肪肝の疑いがある場合には早めに精密検査を受ける必要があります。

超音波や血液検査、CTなどで簡単に調べられます。

当院でも検査を行っておりますので気になる方はお気軽にスタッフにお声掛けください。



アルコールは1週間14合以下を目標にコントロールしましょう！！

(女性・高齢者はこの1/2～2/3が目安です)

- ※1合とは?
ビール 500ml
ワイン グラス1杯
焼酎 110ml
ウイスキー ダブル1杯
缶チューハイ(5%、350ml) 1.5本



インフルエンザ検査

当院では昨年12月よりインフルエンザ迅速検査装置が1台増え、2台体制となりました。

以前と比べて効率的に作業ができるようになった為、今までより患者様の待ち時間が少なくなりました。簡易検査キットでは発症してから12～24時間ほど経過しないと、正確な判定ができませんでした。しかし、当院のインフルエンザ検査装置は、感度の高い専門装置を数年前より採用し、より早い段階でインフルエンザを検出できるようになりました。



1日でも早く診断し、最適の治療を患者様に提供することで患者様が1日でも早く症状が緩和できるように、そして少しでも周りの方々に感染させてしまいうリスクを抑えて頂けるよう願っております。

ホームページリニューアル

当院のホームページを、今年(平成31年度)からリニューアルさせていただくこととなりました♪今までは情報量が多すぎて、皆様には分かりづらい部分も多かったことと思います。小田代病院の全職員が協力し、話し合いを重ね作成している段階です。進行状況としては、院内・外の写真撮影が終了し、文章の構成や写真の位置を検討しております。



新ホームページのスローガンは、

- 1、いつでも・どこでも・どなたでも 2、最新情報のお届け 3、見やすい・わかりやすい・操作しやすいを掲げております。

あっ！！知ってる顔だ！など、たくさんの方に見ただけだと職員一同嬉しい限りです(´-`)

新ホームページの運用は平成31年3月上旬予定です。リニューアルまでは今までのホームページのご利用をお願い致します。

スマートフォン・パソコンのYahoo!もしくはGoogle検索で、

恵徳会 小田代病院

と検索すると、トップページにホームページが表示されます。



お薬の疑問に答えます(第2話)

最もよく聞かれる質問にお答えします。最後まで、みてくんやい？

質問:水以外の飲み物で、お薬を飲んだらダメですか？

水以外の飲み物でお薬を飲む場合、よく聞かれる飲み物はお茶、コーヒー、ジュース類および牛乳があります。お薬をお茶と一緒に飲むのは良くないと聞いたことがあると思います。お茶の中には、薬の吸収や効果に影響する成分として主に「タンニン」と「カフェイン」があります。タンニンは鉄の吸収を邪魔すると言われていましたが、最近の調査の結果でタンニンはそんなに鉄の吸収には影響を及ぼさないということがわかりました。



但し、少ないとはいえ、お茶の影響で吸収抑制がみられることには変わりはありませんので、濃いお茶での服用は避けたほうが良いと思います。

一方、カフェインはお茶以外にもコーヒー、抹茶、ココア及びコーラ等さまざまな飲み物に含まれています。このカフェインには神経を興奮させる働きがあり、寝つきを良くする睡眠導入薬の効果を弱めることがあります。また薬の中にカフェインを含んでいる薬があり、これらの飲み物と一緒に飲むとカフェインを取りすぎてしまい、具合が悪くなる場合があります。



お薬は水か白湯で飲むのが一番よかど!

お薬の疑問？シリーズは終わりとさせていただきます、また別の形で投稿予定です。乞うご期待ください!

私の趣味紹介(訪問部 前田 玲奈)

私の趣味は舞台芸術やコンサートの鑑賞です。非日常を体感する事で気持ちがリフレッシュし、また新鮮な気持ちで普段の生活や仕事に臨むことができます。自分が興味が無かったものでも新たな発見や出会いがある為人から誘われたり情報を得れば、積極的に訪れるようにしています。観光も兼ねて他県へ観に行く事が多く、今後は国外も沢山訪れ様々な人や文化と出会い見聞を広めていきたいです。いつも鑑賞する側で人前もあまり得意なほうではないのですが以前小さな祭の場で行われた親戚のバンド演奏を聴きに行った際、聴いているうちに昔自分も習っていたピアノで是非一度演奏に参加してみたいという気持ちが初めて湧きました。鑑賞する事によってリフレッシュするだけでなく得るものも沢山有り、新しい事に挑戦してみようという刺激も受ける為今後その姿勢も大切にしようと思えます



新入職員紹介

①有川 佳郎(ありかわ よしろう)

- ②リハビリテーション
- ③ジムに通って体を鍛えています!
- ④困っている方の力になれるよう頼りがいのある職員を目指して頑張ります!



①坂口 恵理子(さかぐち えりこ)

- ②看護師(病棟)
- ③お酒・食べる事
- ④看護師としての経験は浅いですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひしますカ



～①名前 ②部署 ③趣味 ④一言～

①柴尾 裕樹(しばお ゆうき)

- ②看護師(病棟)
- ③魚釣り・車
- ④精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします!



新しい仲間です！
皆様よろしくお願ひしますカ



小田代記念クリニックだより



小田代記念クリニックでは通院が困難な方で自宅や施設等での療養をご希望されている方を対象に訪問診療を行っております。ご家族の方等でご相談したいことがございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。また毎週木曜日午前には泌尿器科の診療、月1回火曜日には眼科の診療も行っております。(眼科を受診される際は事前にお問い合わせ下さい。)

一平和記念公園入口の桜です。大木桜のトンネルとなっています。皆さんも是非行ってみてください(〜)

医療法人 恵徳会 忘年会♪

医療法人 恵徳会 小田代病院・小田代記念クリニックの忘年会が盛大に開催されました!!

総勢80名を超える人数で行われた忘年会は他部署の方々とのコミュニケーションを取り、全職員の仲も深まった事と思います。また、毎年恒例のお楽しみ大抽選会が行われ、豪華な景品が多くの皆さんの手に渡りました。♪

今年度も心機一転、全職員で業務にあたりますので今後ともよろしくお願い致します



←1等は小田代記念クリニック
山切さんでした!!(o^o)



景品もらってはいチーズ 🍷

《プレミアム在宅ゼミ》(訪問診療部)

外部の講師をお呼びして研修会を行っております。

下記が昨年の研修会です。

- 1/26 鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 稲谷 心み枝 先生
「リハビリテーション法と福祉施設における実践」
- 2/23 医療法人平和会 ひきまつクリニック 久松 恵明 先生
「質の高い在宅医療を目指して～平和会5年間の取り組み～」
- 3/16 田中脳神経外科クリニック 田中 滋也 先生 「てんかんの診断と治療」
- 3/30 医療法人仁慈会 太田歯科医院 太田 博見 先生
「訪問歯科診療における嚥下診断と外来における最新の歯科治療」
- 4/27 NPO法人がんサポートかごしま理事長一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事 三好 綾 先生 「がん患者が望むこと」
- 5/25 福元薬局 沼田 典由美 先生 藤木 純也 先生
「①鹿児島県薬剤師会 在宅医療・地域連携への取り組み」
「②薬局薬剤師の在宅訪問の実態」
- 7/10 小田代病院 訪問診療部 非常勤医師 森田 洋之 先生
「医療経済の嘘(出版記念講演会)」
- 7/27 医療法人開南 池田診療所 宮田 敬博 先生 「南極で学ぶ人間力」
- 8/31 日本ALS協会理事鹿児島県支部 事務局長 かつら 雅典 先生
「ALS等重症神経筋疾患患者の鹿児島での療養生活の現状と課題」
- 9/19 一般社団法人メディボリス医学研究所メディボリス国際障害者治療センター 長 萩野 尚 先生 「慢性疼痛に対する嚥下線治療」
- 9/28 フリアス 品質管理室長 神田 浩士 先生
「フリアス在宅マッサージ年間売額12万件から見える 片麻痺患者様の心理傾向と動機分析」
- 10/26 フリアス 品質管理室長 神田 浩士 先生
「在宅マッサージ活用術!目からウロコ!4つの症例報告とリンパケア実技」
- 11/30 鹿児島大学病院消化器外科 前場 康徳 先生
「自己決定支援中の意思決定支援～すぐそこにある"リ"リカバ"イ"～」



編集後記

昨年、導入した電子カルテにもずいぶん、慣れて業務の効率化に役立っております。導入が決まってからはスタッフ一同、不安でいっぱいでしたが、今年はゆっくりと花見もできそうです。医療は日々、進化、変化しており対応に戸惑うこともありますが、今後もスタッフ一同力を合わせて全力で突き進んで行きたいと思っております。

鹿児島市荒田1丁目25-6
TEL 099-253-8111
FAX 099-253-8140

